

麻生田小だより

NO. 14 令和4年3月24日 文責 校長 木下浩文

【教育指針】 礼・学・体

【校訓】 かしこく 強く 美しく

【教育目標】 よりよい自他のために主体的に行動できる
子どもの育成

【学校経営スローガン】 安全・安心で毎日来たくなる学校

感動の卒業式

62人の巣立ち



3月23日に卒業証書授与式が行われ、6年生62人が麻生田小学校を立派に巣立ちました。来賓の方はお迎えできませんでしたが、多くの保護者のご臨席のもと、厳粛な中にも感動的な卒業式となりました。6年生は担任の先生から一人一人名前を呼ばれると、大きな声で返事をしてステージ中央へ進み、卒業証書を受け取りました。コロナ対策のため合唱は録画で呼びかけのみでしたが、6年間の思い出を力強く発表してくれました。5年生もビデオメッセージで6年生への感謝とエールを送りました。退場後には保護者向けに子どもたちの動画が放映され、6年生の楽しそうな活動と笑顔に職員も保護者も感動が高まりました。

卒業式 校長式辞より（抜粋）



（前略）6年生となった皆さんは自覚と責任感を持って活動してくれました。10月開催となった運動会では、徒走やリレー、団体競技、応援団で麻生田小の元気な姿を披露してくれました。なんとか実施できた長崎修学旅行では、フィールドワークや被爆者の方の講話、原爆資料館の見学を通して、戦争の愚かさを痛感し、命の大切さ、平和の尊さを学びました。新型コロナや紛争で世界が混乱している今、平和の大切さが特に身にしみみます。そして迎えた卒業の日。このように卒業式ができることを本当にうれしく思います。

皆さんはこれから中学校に進学し、夢や目標の実現に向かって力強く進んでいくことでしょう。これからの時代はAI（人工知能）がもっと進化し、ドローンが荷物を運び、自動運転の自動車が走り、今では想像できない社会に変化していくでしょう。そのような変化の激しい時代を力強く生きていくためには、これから進む中学校、高校といった学生時代にどんな力を身につけるかがとても重要です。

皆さんは「進化論」という本を書いたダーウィンを知っていますか。NHKでダーウィンが来たという番組がありますね。ダーウィンは長年、生物の進化や滅亡を研究して次のように言っています。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」長い地球の歴史の中で恐竜をはじめ多くの生物が環境の変化に対応できず滅亡していきました。今生き残っている生物は環境の変化に合わせて自分自身も変化して対応してきた生物です。ダーウィンが言う「変化できる者」になることこそ、変化の激しい新しい時代を生きていくために必要な力です。中学校でぜひその力を身に付けてください。もちろん一人で頑張る必要はありません。家族も友達も先生もいます。他の人に頼りながら対応すればいいのです。中学校の3年間はあっという間に過ぎます。次は中学校でさらに進化してくれることを期待しています。（後略）

4月の学校行事(案)

- 11日(月) 就任式、始業式
- 12日(火) 給食開始(2年以上)
- 13日(水) 入学式
- 15日(金) 学級懇談会・安全点検
- 19日(火) 全国学力・学習状況調査
- 18日(月) 1年生給食開始
- 19日(火) 家庭訪問～26日
- 28日(木) 授業参観・PTA総会

※コロナの状況次第で変更があります



修了式を迎えて

3月24日に修了式を行い、体育館で5年生の代表に修了証を手渡しました。コロナの収束を願った1年でしたが、期待に反して年度末に感染が拡大する状況となりました。「安全・安心で毎日来たくなる学校」を学校経営スローガンに掲げて全職員で取り組んでまいりましたが、コロナ禍でいかに児童の安全安心を保障し、教育活動を実施するか、苦難の1年でした。無事に卒業式、修了式を迎えることができ安堵しています。子どもたちや先生たちの頑張り、保護者や地域の方のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。来年こそコロナが収束することを願っています。